

1.2 教育及び文化の振興 (1) 教育

小・中学校は父島・母島にそれぞれ設置され、高等学校については、都立小笠原高校が父島に設置されており、校舎をはじめ体育館、プール、屋外運動場などの学校施設が整備されている。学校教育の場であることはもとより、住民のスポーツ・文化などの社会教育の場として、寄与してきたところである。
なお、都立小笠原高校については、母島から進学する生徒のための寄宿舎を整備している。

同量・生徒数の推移

	小笠原小学校 (父島)	母島小学校 (母島)	小笠原中学校 (父島)	母島中学校 (母島)	小笠原高校 (父島)
平成21年度	119	38	50	11	58(7)
平成22年度	123	32	49	14	50(4)
平成23年度	138	27	43	16	59(7)
平成24年度	140	32	49	13	44(5)
平成25年度	138	29	43	16	45(8)

小笠原高校()は寄宿舎入寮生で内数

都立小笠原高校については改築から25年以上経過したこともあり、経年劣化等も見られることから、大規模改修工事(増築棟建築、体育館改修)を計画的に実施している。
母島の小・中学校は平成17年度に新校舎となり、また、父島の小・中学校については、平成25年度に耐震化工事を行っている。
小笠原村は、奨学金貸付制度により、本土の学校への進学者に対する支援を行い、保護者負担の軽減を図っている。

現状と課題

- 父島の小・中学校については、経年劣化と併せて、児童・生徒数の増加によって手狭となっているため、建替えによる教育環境の向上が求められている。
- 学校教育を担う教職員の更なる指導力向上のための支援体制の充実等が求められている。
- 学校、家庭及び地域社会が相互に連携し、一体となって子供を育てる体制づくりが求められている。

今後5年間の取組

- 老朽化した父島の小・中学校施設については、建替えに向けた具体的な検討を進める。【村】
- 教職員の更なる指導力向上を目指し、研修やOJT等による人材育成のための支援体制の充実を図る。【都・村】
- 都立小笠原高校における指導の充実のため、一層の教職員の体制整備を図る。【都】
- 学校教育については、小笠原諸島特有の伝統文化、歴史、自然環境など地域の特性や人材を生かしながら、小中連携教育や地域と一体となった教育を推進する。【村】
- 学校施設の開放や社会体育施設などの既存施設の有効活用などにより、社会教育の充実を図る。【村】
- 小笠原諸島内外の高等学校への進学支援等について検討する。【村】

年次計画

具体的な取組	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
小・中学校の建替えに向けた検討	検討	検討		計画・設計	
都立小笠原高校改修		工事			
都立小笠原高校における一層の教職員の体制整備	検討		実施		
学校教育及び社会教育の充実			継続		



都立小笠原高校

12 教育及び文化の振興 (2) 文化・スポーツ

小笠原諸島には世界的にも貴重な動植物や地域性豊かな歴史・文化があり、特別天然記念物のメグロをはじめ、学術上貴重な文化財が数多く存在しており、世界自然遺産登録を契機に、世界中から小笠原諸島特有の歴史及び文化への興味が高まっている。こうした文化財の適切な保護・活用を図るため、小笠原村文化財保護審議会が設置されているほか、都では小笠原諸島に存する有形・無形の文化財の保存伝承及びその活用に関する指導・助言を行っている。

また、南洋踏りや小笠原の民謡など小笠原諸島特有の文化については、学校教育や地域でのイベントなど様々な場面で採り入れられている。

その他、島内で開催する住民向けのスポーツ大会への支援などを行っている。

現状と課題

- 伝統文化を今後継承していく人材が不足している。
- 小笠原諸島の貴重な文化財が注目される中、保護・活用のための体制が整っていない。
- 離島という地理的な条件から、島外の芸術文化に直接触れる機会を確保していく必要がある。



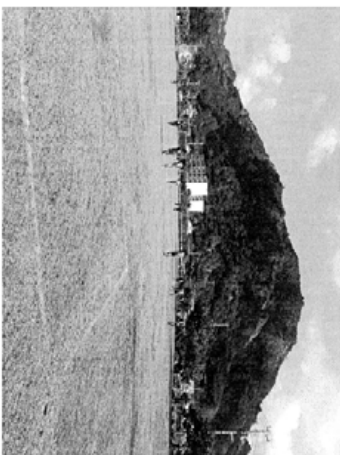
南洋踏り
(東京都無形文化財)

今後5年間の取組

- 文化財及び文化の保存・伝承を図るとともに、小笠原諸島の地域性豊かな歴史及び文化を観光面でも活用できるよう、観光客の探究心に応える環境づくりを促進する。【村】
- 文化財及び文化の意義や価値について、国内外の研究者等との連携により調査・研究を深め、得られた知見を広く還元し、その有効活用を図る。【村】
- 小笠原諸島を海洋資源・民俗文化等の研究・教育の拠点として活用し、その成果を国内外に発信することについて、関係機関と連携しその可能性や施策を検討する。【村】
- 島よ芸術文化振興事業の継続実施など、音楽、児童演劇や寄席等を鑑賞する機会を提供し、小笠原村における芸術文化の振興を図る。【都】
- スポーツ大会の支援は、住民の健康増進や住民間の活発な交流も期待できることから今後も継続していく。【都】

年次計画

具体的な取組	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
文化・スポーツ振興への取組	継続				



スポーツ大会(サッカー)